

# コミュニティ・スクール ごきげんな学校だより (5号)

2023年11月発行  
調布市立上ノ原小学校  
コミュニティ・スクール  
学校運営協議会  
会長 清水 美千代

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支えることを目指す制度です。学校運営協議会では、「地域とともにある学校づくり」を推進するために、毎月の学校運営協議会で熟議を重ねています。



## 10月の学校運営協議会（報告）

10月の学校運営協議会では、主に11月に予定されている6年生の総合的な学習の時間「ようこそ先輩 上小 ver.」についての話し合いが行われました。

この授業は、キャリア教育（詳細は上ノ原小だより11月号に掲載）として、地域からゲストティーチャーを招いて、児童のみなさんと少人数グループで交流しながら学習するという温度感を意識した内容です。できるだけ様々な職業に出会えるよう学校運営協議会委員のつながりで協力者を募りました。ゲストティーチャーの中には、上ノ原小の卒業生、保護者、地域の方が含まれています。コミュニティ・スクールが目指す、学校が地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく具体的な取り組みとなります。地域の方で子どもたちの豊かな成長を支えられる機会になるよう力を合わせて準備しています。

ゲストティーチャーの職業は、建築家、CGクリエイター、大学教員、会社員（保険会社・銀行）、イラストレーター、フォトグラファー、レスキュー隊、インテリアデザイナー、レントゲン技師、弁護士、スポーツトレーナー等々、実に多彩なメンバーにご協力をいただけることになりました。上ノ原地域は、ユニークな職業の人に囲まれていることにあらためて気づくことができました。

今回の取り組みがうまくいけば、上ノ原小学校を起点とする人のつながりを学校教育に活用していくことがより一層進むと思われます。さらに、人材のみならず、地域社会の資源を活用したより良い学校運営の在り方を考えていきたいと考えています。

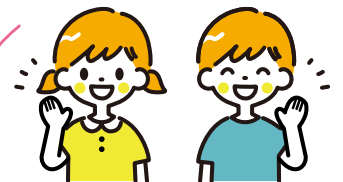
コミュニティ・スクールのあり方については、毎回の運営協議会で熟議しているところですが、今の段階での整理として、上ノ原小学校のコミュニティ・スクールは、学校支援を中核に据えて、地域のチカラを結集していく装置だと思っています。一番近くで学校に寄り添い「ともにある」存在として、歩んでいきます。



## 11月はふれあい月間

### あいさつからはじまるごきげんな学校に

*Good Morning!*



東京都では、毎年6月、11月、2月を「ふれあい(いじめ防止強化)」月間とし、都内の全ての小・中学校で、いじめを未然に防止し、子どもたちの健全育成を目指して取組を行っています。あいさつ週間もその一貫です。上ノ原小学校では、11/1～11/7の期間、毎朝、計画委員会の児童が、門の前に立って登校してくる子どもたちに元気にあいさつをしていました。あわせて、PTAでも「あいさつ見守り活動」が行われていました。

あいさつはふれあいの入口です。相手に敬意や関心を示し、良好な関係を築くための第一歩となります。あいさつを大切にすることが、相手の気持ちも考えて、「いじめ」「いじわる」「いやがらせ」のない『ごきげんな学校』につながります。学校、家庭、地域で、「あいさつ」からはじまる温かいふれあいの輪を広げていきましょう。



あいさつ週間の様子  
(学校ホームページより)